

山口中学校保護者様

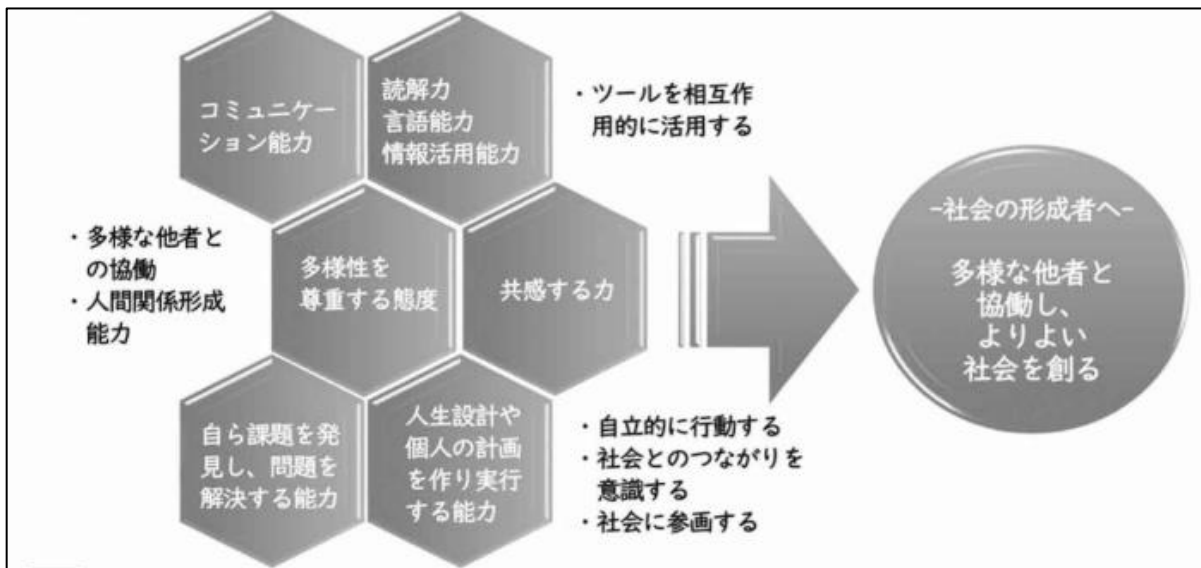
これからの山口中教育

西宮市立山口中学校
校長 木戸 みどり

お子様の進級おめでとうございます。平素は、本校教育に対して、ご支援・ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、令和 3 年度より新しい学習指導要領に基づき、子供達の将来を見据え、必要な資質・能力を、中学校時代に学校教育を通じて育成するために、教職員一同で、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりに努めています。

図 1 これからの社会で求められる資質・能力



令和 3 年（2021 年）4 月配付 西宮市教育委員会「夢と志を語る子供」の育成を目指す西宮教育より

Ⅰ 協働的・対話的な学びを目指した授業形態の導入します

特に、本校では昨年度より、令和の学校づくりとして、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的充実をはかるために、“学び合い”という授業形態を研究してまいりました。今年度から、各教科の一部の単元で実施し、YLSを「山口クエスト」と改名して、学び合い形態の学習を主に取り組む時間を設定するなど、本格的に導入いたします。

（Ⅰ）学び合いの目的

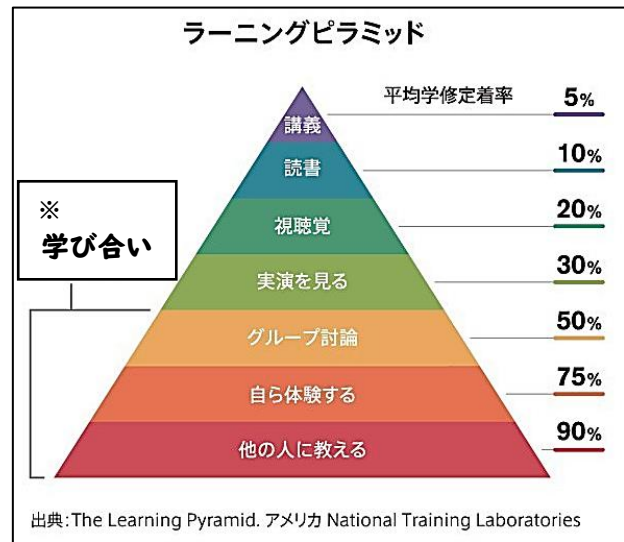
- ①自らの課題に向き合い、改善し、自ら学びに向かう生徒の育成。
- ②他者の課題を共有し、協働して助け合い、共に学び合う生徒の育成
- ③確かなコミュニケーション力をもち、たくましく生きようとする生徒の育成。

(2) 学び合いの特徴

- ①従来の教科担任が教え導いていく講義形式ではない。
- ②学習課題に対して、自ら考え他者と協働しながらその解決を図る。
- ③教室を移動し、他の生徒と自由にコミュニケーションできる。
- ④素直に「分からない」が発信でき、他の生徒に教えを請うことができる。
- ⑤他の生徒に「教える」ことで、自らの学びを深めることができる。
- ⑥誰一人取り残すことのない学習活動の実践が期待できる。

(3) 期待できる学習定着率の向上

右図はラーニングピラミッドとい
い、アメリカの研究機関が発表した
ものです。これまで行ってきた上層
のインプット中心の授業形態では学
習定着率が低いのが分かります。下
層のアウトプット中心の学習活動に
あたる学び合いは、非認知能力の向
上とともに、学習定着率の向上が期
待できます。※原典の「アクティブラ
ーニング」を「学び合い」と表記していま



2 単元テストを実施します～2 学期中間考査の廃止

学習評価は、生徒の学習状況を把握する観点から、単元など内容や時間のまとまりを見通しながら、評価の場面や方法を工夫して、教員の指導の改善や生徒の学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすように実施しています。本校では、このことを踏まえて、今年度より、2 学期中間考査を廃止し、単元テストを実施します。定期考査より高い頻度で学習内容の理解度を確認することができ、生徒は自らの学習改善につないでいくことができます。また、テスト範囲も狭く、生徒は準備しやすいと考えています。

以下の(1)～(4)の要領で実施してまいります。

(1) 実施内容：各教科の設定する単元内容

例 中2 数学 単元内「式の計算」

授業時数：約12時間、教科書のページ数：約20ページ分

(2) 実施教科：国語、数学、社会、理科、英語の5教科

(3) 実施時間：毎週月曜日1校時～2校時、1教科あたり25分または50分

※週によって実施する教科は異なります

(4) 留意事項

①5教科を毎週必ず実施するものではありません。

②日々の学習について、こまめに振り返り、定着を図る必要があります。

③日程は毎月の行事予定に掲載し、授業内でも連絡します。

④1・2学期期末考査、学年末考査、実力テストは、従来通り実施してまいります。